

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	沖縄県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	石垣市立 真喜良小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	3	3	1	15	19
児童数	70	69	63	75	83	84	3	447	

研究の概要

1. 研究主題

「確かな学力」を身に付けさせ、生きる力を育む指導法の研究
～基礎・基本の定着をめざして～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

実施学年： 全学年 実施教科： 国語・算数
児童の実態調査の結果から、学習の基礎的・基本的事項の定着を図る必要があり、全校体制で取り組むため。

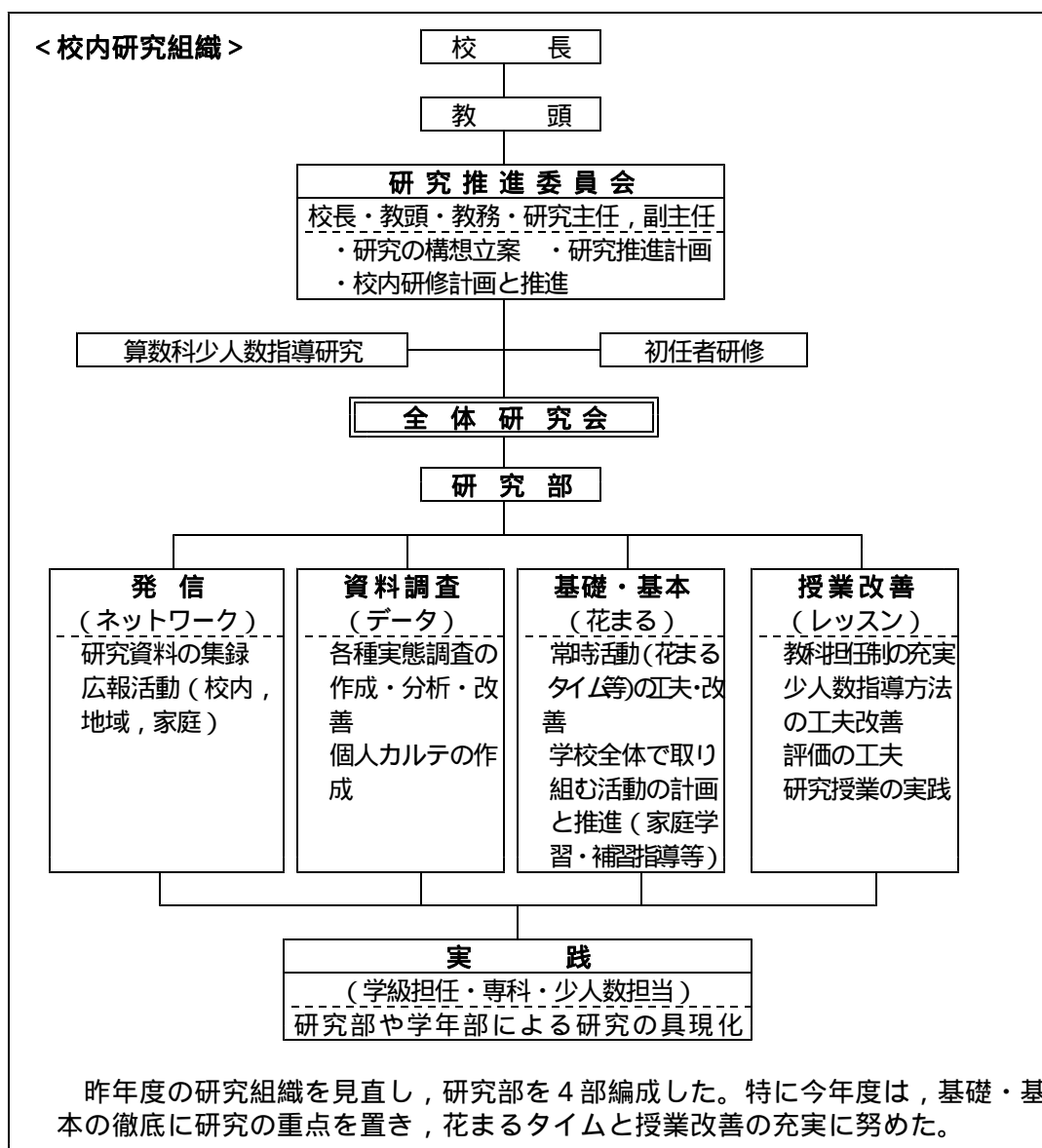
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>研究主題 「確かな学力を身に付け、生きる力を育む子どもの育成 ～分かる喜び・学ぶ喜びを味わわせる学習指導の工夫～」</p> <p>研究仮説</p> <p>(1) 算数科において、習熟度に応じたきめ細かな指導を徹底し、基礎・基本の定着を図る学習指導や授業研究を行えば、「確かな学力」も身につくだろう。</p> <p>(2) 教育活動全体を通して、基礎学力の定着と生活リズムの確立を図る指導を、意図的、計画的に取り組めば、確かな学力が身に付き、生きる力の源となるだろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>算数科について</p> <p>(1)基礎的・基本的事項(計算力)の実態調査・分析</p> <p>(2)計算力の向上と基礎・基本の定着を図る取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花まるタイム・・毎週金曜日の朝(8:20~8:40)放課後(補習指導) ・始業時のまず計算(四則演算) <p>(3)少人数指導で個に応じた指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別学習で基礎的・基本的な内容の習熟を図る。 ・新しい単元に入る前に準備テスト(事前の実態把握)を行い、少人数学級の編成を行う。(3年以上は3クラス+1) ・繰り返し学習(算数習熟プリント)で基礎的・基本的事項の定着を図る。 <p>(4)TTによる指導(図形領域5・6年)学年TTでコース別学習</p> <p>(5)問題解決的学習の充実(各学年研究授業)</p> <p>(6)評価計画(評価基準)作成</p> <p>その他</p> <p>(1)学校テスト(当該学年の基礎基本)・・[算数・国語]で実態把握。</p>
--------	---

- (2)漢字力実態調査・分析・・・既習漢字の定着と漢字力の向上を図る。
- (3)読書活動の充実(毎週火・木の朝・・・読書の時間)
- (4)総合的時間の充実(ハロータイムで英語活動)・道徳研究授業と講話
- (5)家庭学習の工夫・充実・生活実態調査
- (6)地域・家庭との連携(花まるまきらっ子・・・通信)
- (7)花まるコーナー設置(学年の取り組みを紹介)

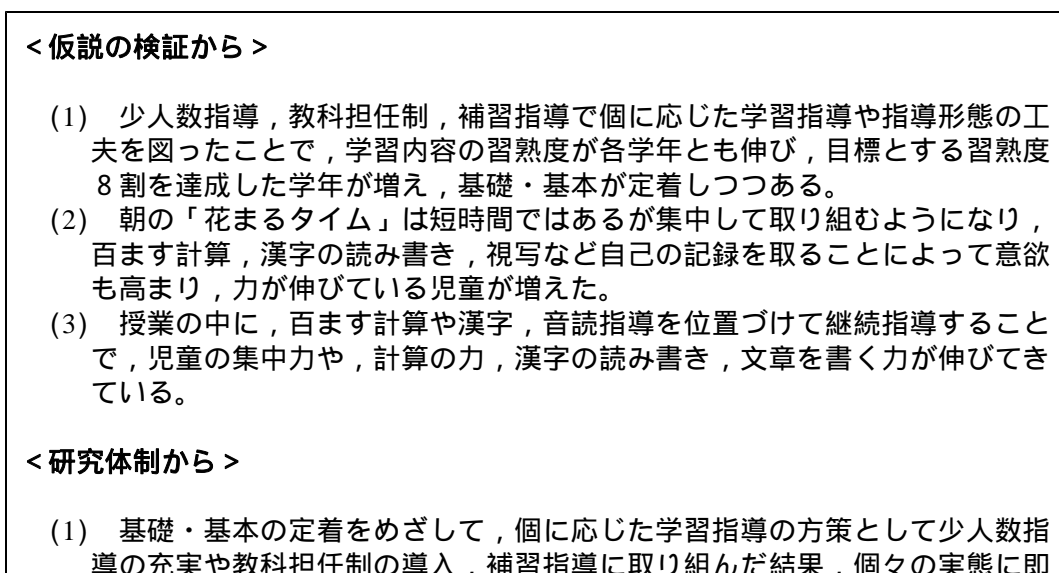
平成 15 年 度	<p>研究主題「確かな学力」を身に付けさせ、生きる力を育む指導法の研究 ～基礎・基本の定着をめざして～</p> <p>研究仮説</p> <p>(1) 算数科と国語科において、基礎・基本の定着を図る学習指導と評価の工夫を行えば、確かな学力が身につくだろう。</p> <p>(2) 授業や常時活動において、反復学習を継続して取り組めば、児童一人一人に基礎・基本が定着するだろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">研究内容 1</th> <th style="width: 33%;">研究内容 2</th> <th style="width: 33%;">研究内容 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>算数科・国語科について (1)基礎的・基本的事項の実態調査・分析・考察 (2)習熟度別の指導法・指導体制の工夫・改善 (3)評価の工夫・改善 (4)基礎・基本を重視した研究授業及び授業研究</td> <td>各教科及び教育活動全体 (1)基礎的・基本的事項の定着 (2)常時活動の工夫〔花まるタイム〕 (3)学校テストの実施(計算・漢字・・・毎学期) (4)補習指導の充実 (5)読書指導の充実</td> <td>地域・家庭教育 (1)家庭学習の工夫・充実 (2)地域・家庭との連携 (3)生活実態調査</td> </tr> </tbody> </table> <p>具体的な実践内容</p> <p>(1) 習熟度別指導の計画・実施・・・2学年～6学年の算数科</p> <p>(2) 教科担任制の実施・・・5,6学年(国語・算数・社会・理科・音楽・家庭)</p> <p>(3) 補習の時間の設定と放課後学習の計画・実施</p> <p>(4) 計算力の定着に向けた百ます計算(+・-・×・÷)の取り組み</p> <p>(5) 漢字の読み・書き・暗唱・視写の取り組み</p> <p>(6) 真喜良小基礎学力調査(漢字の読み書き・算数の計算領域)や学校テストの実施</p> <p>(7) 朝の読書(週1回8:25～8:40)の計画・実施</p> <p>(8) 朝の花まるタイム(反復学習)・・・木曜日(国語)金曜日(算数)</p> <p>(9) 夏休み基礎・基本強化学習会(全学年)の実施。</p> <p>(10) 放課後学習での各種検定(児童数検・漢字検定)の指導等発展的内容の指導</p> <p>(11)「フロンティア研究校ニュース 花まるまきらっ子」「HP作成」等、家庭や地域への発信</p>	研究内容 1	研究内容 2	研究内容 3	算数科・国語科について (1)基礎的・基本的事項の実態調査・分析・考察 (2)習熟度別の指導法・指導体制の工夫・改善 (3)評価の工夫・改善 (4)基礎・基本を重視した研究授業及び授業研究	各教科及び教育活動全体 (1)基礎的・基本的事項の定着 (2)常時活動の工夫〔花まるタイム〕 (3)学校テストの実施(計算・漢字・・・毎学期) (4)補習指導の充実 (5)読書指導の充実	地域・家庭教育 (1)家庭学習の工夫・充実 (2)地域・家庭との連携 (3)生活実態調査
	研究内容 1	研究内容 2	研究内容 3				
算数科・国語科について (1)基礎的・基本的事項の実態調査・分析・考察 (2)習熟度別の指導法・指導体制の工夫・改善 (3)評価の工夫・改善 (4)基礎・基本を重視した研究授業及び授業研究	各教科及び教育活動全体 (1)基礎的・基本的事項の定着 (2)常時活動の工夫〔花まるタイム〕 (3)学校テストの実施(計算・漢字・・・毎学期) (4)補習指導の充実 (5)読書指導の充実	地域・家庭教育 (1)家庭学習の工夫・充実 (2)地域・家庭との連携 (3)生活実態調査					
<p>研究主題： 2年次同様</p> <p>研究の内容・方法： 2年次研究の成果と課題を踏まえ、研究の継続と深化を図る。</p>							

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

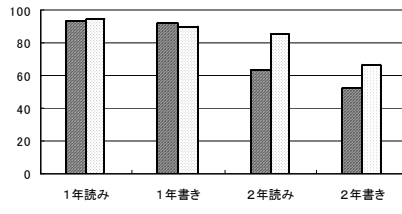
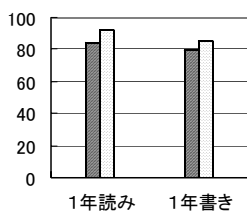


した指導ができた。

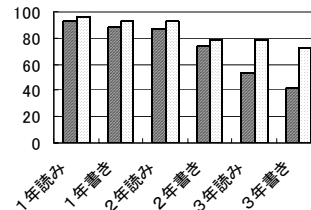
- (2) 全校体制で継続指導をする「花まるタイム」の充実を図ることができた。
- (3) 児童の学力面、生活面の各種実態調査を継続実施し、分析・考察から課題を見つけ、指導に生かすことができた。
- (4) 家庭との連携を図る広報（学校便り、研究ニュースなど）を発信できた。

< 児童の変容 >

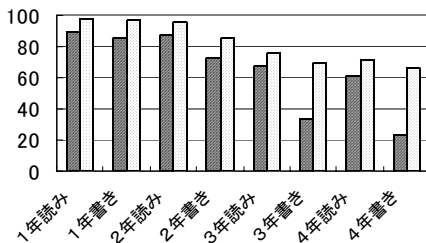
漢字力実態調査(6月 と 11月)
(2年生) (3年生)



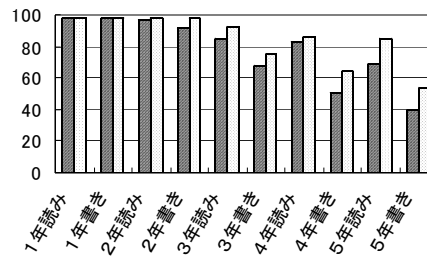
(4年生)



(5年生)

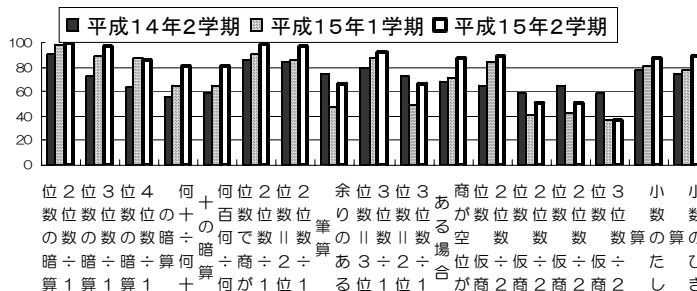


(6年生)

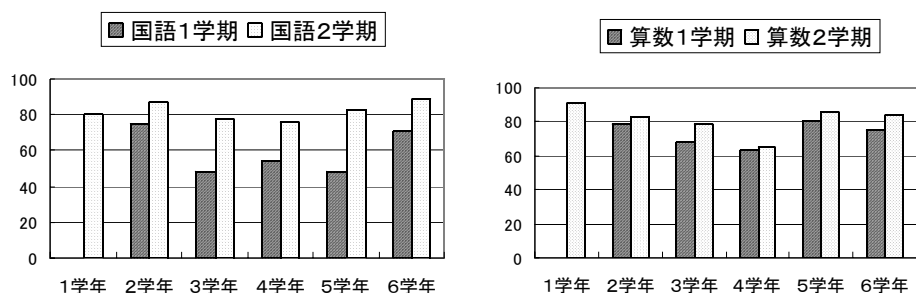


計算力実態調査 (6年生の一例)

6 学 年 (4年の基礎・基本)



学校テスト



2. 今後の課題

- (1) 学習の習熟では個人差が大きいため、個に応じた学習指導の工夫・改善。
- (2) 継続指導のための児童の学習カルテの作成。
- (3) 基礎・基本定着のための家庭との連携の在り方。
- (4) フロンティアスクールとして研究成果普及のためのHPやパンフレット作成。

学力等把握のための学校としての取組

計算力実態調査

- ・計算領域を前学年までの習熟度を調査し、学習指導に役立てる。
- ・1年から6年までの計算領域の問題（同一問題）を作成し、前学年までの問題を6月・11月・2月の年3回調査する。

漢字力実態調査

- ・漢字の読みと書きを調査し、学習指導に役立てる。
- ・前学年までの該当漢字の読みと書きを6月・11月・2月年3回調査する。

学校テスト

- ・当該学期の算数と国語（漢字）の習熟度をテストし、学習内容の定着を図る。
- ・算数は当該学期の単元内容、国語は当該学期の漢字の読み書きを学期末に実施する。

生活実態調査

- ・基本的な生活習慣について実態調査し、家庭と連携していく手立てとする。
- ・調査項目は「起床時刻・片づけ・あいさつ・洗面・朝食・下校後の過ごし方・帰宅時刻・手洗い・家庭学習時間・ゲームやテレビの視聴時間・就寝時刻」

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

「平成14年度石垣市学力向上対策実践発表会」において、1年間の研究実践を発表。

「平成14年度小中合同学力向上対策実践発表会」（中学校校区・・1中学校3小学校の学校職員、地域住民、各学校の保護者）において1年間の研究実践を発表。

平成15年度「校区内小中合同学力向上対策実践発表会」

日時・場所：平成16年1月29日（木）石垣小学校

対象：石垣中学校、石垣小学校、新川小学校、真喜良小学校校区保護者地域住民

平成15年度「八重山地区学力向上対策実践発表会」

日時・場所：平成16年2月8日（日）

対象：石垣市、竹富町、与那国町

2月中にHP作成予定。

平成15年度研究報告書を作成し、八重山郡内小学校へ配布。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校

【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上

【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他

【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無